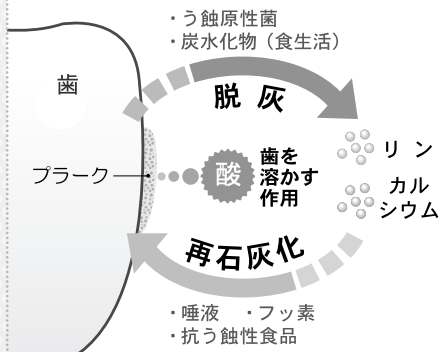


21世紀、むし歯は「予防」という名の「治療」をする時代です



一昔前まで、むし歯は削って治すのが治療でした。でも今では、むし歯になる原因や仕組みがわかってきてむし歯にならないようにできます。上手に歯医者さんとお付き合いして、むし歯のないお口で一生を快適に過ごしましょう。

むし歯になるメカニズム



私たちの口の中では、歯を溶かす作用(脱灰)と歯を守る作用(再石灰化)が同時に行われていて、このバランスがとれていれば歯は健康です。

ところが何かの原因で歯を溶かす作用が強くなると、歯の表面からカルシウムやリンがどんどん溶け出してむし歯が始まります。

新しい予防の考え方

かかり始めたむし歯が本格的なむし歯になるまでには、思いのほか時間がかかります。その間に歯を守る作用を強くし再石灰化を促す適切な治療をすれば、むし歯の進行を止め元の状態を回復させることができます。

むし歯と個人差

同じ生活をしていてもむし歯になる人とならない人がいますが、これは口の中の条件が異なるからです。歯を溶かす作用を強める条件はいくつかあり、この条件への反応には個人差があります(カリエスリスクといいます)。まずは口の中の条件を調べる検査(カリエスリスク検査)を受けて、あなたがどんな条件の持ち主かを知しましょう。

予防プログラムとその実践

これからの時代は、「予防から健康増進を目指す時代」です。歯科医院では、様々な検査結果をもとに、患者さんの生活全体を総合的に判断してその人に合った予防プログラムをたてます。私たち歯科の専門スタッフは、定期的な検診を通じて、これらの予防プログラムがうまく行われるよう患者の皆様をサポートします。

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

12 2009年
月号



いよいよ今年も12月となりました。日々診療をしていると歯科治療の過程を「簡単に考えすぎているのでは？」と思う患者さんもいらっしゃいます。むし歯の治療も、歯周病の治療も、その他の治療も基本的なステップの積み重ねです。すぐにご自分のもとの歯の様な満足に行く結果が出るのであれば苦労はありません。

急に思い立って通院される方がいらっしゃることもあって、診療のペースも乱れがちです。時々「年内に治りますか？」と聞かれることがあります。答えは「治る場合もあれば、治らない場合もあります。」なぜならば、暦は、人間が勝手に決めたものだから。年末は、急用で予約をキャンセルされた後に治療が中断してしまう方の多い時期です。余裕を持って、切りのいいところまで治療して、仮の状態でも年越しをして、来年の完治を目指しましょう。完治したら、予防管理の為に定期的なメンテナンスを続けましょう。一本一本の歯を大切にする為に。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

診療日
変更の
お知らせ

・12月29日(火)~1月6日(水) 年末年始のお休みです。

こみや歯科

☎ 03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」 <http://www.dent-s.net/komiya/>

ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp